

地域に出向き、様々な体験や調査活動を通して地域の方と課題を共有し、

主体的に課題解決を行う系統的な取組



中高連携 若狭高▶高浜中 「日常の疑問を問いに」



①多様なゲストティーチャーによる講演会

- ・上級生によるこれまでの取組紹介
- ・若狭高生・舞鶴高専生による実践報告

②「問い」を立てる（課題設定）

- ・全起案書・活動報告書の校内掲示 他

探究学習『高浜未来創造プラン』

・テーマ 買い物難民を減らす取り組み	高浜未来創造プラン
・問い どうすれば買い物難民が減るようになるのか	SDGs The Action 2023 in TAKAHAMA
・メンバー 1年2組 福井美穂 1年3組 田中真由 村本千穂 会田智美	関連 SDGs SDGs 3 「すべての人に健康と福祉を」
・ターゲット（テーマ設定の理由、現状、課題） 高浜町のお年寄りの人は1人で住んでいることが多い。お年寄りの人がスーパーに行ったり、車で行ったりすることが難しい。スーパーが遠い人たちがネットを買ったものを届けるのが大変なこと。お年寄りが重い物行くのが難しい人たちがいることを知った。課題は、ドローンが重い荷物を運ぶことができない、長い距離を飛ぶことができないので届けるのが難しい。免許も必要になる。飛んでいる途中に鳥にぶつかる可能性がある。他にも配達する人の労働時間を減らすためにお年寄りが動かせず泣くようにすることも課題である。アプローチ（課題解決に）に向けた提案、取組・方策）	SDGs 7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 SDGs 8 「働きがいも経済成長も」
・移動販売。 ・話を聞きに行く。 ・おやジューの会の方と交流する。 ・電話をする。 ・社会福祉協議会の人と交流する。	
・プラン（具体的な活動計画）とアクション（進捗状況、評価、修正、改善）	
6月 物を届けるためにドローンについて調べた	
7月 舞鶴高専の方にきていただいた。ドローンについて話を聞き、たくさんドローンを見た。	
8月 舞鶴高専に行きドローンを体験した。動画と写真を撮った。	
10月 おやジューの会の人たちと交流する。	
11月 おやジューの会の人たちと交流する。	
12月 活動のまとめ。プレゼン資料の作成。	
1月 発表の準備をする。	
3月 発表をする。	
情報収集の方法 ・舞鶴高専の人に聞く ・公民館の人に聞きに行く ・インターネットで調べる	

③企画、体験・調査

- ・SDGsに関連付けた課題解決
- ・地域イベントの企画

地域 2023年(令和5年)8月13日(日曜日)



竹明かりを製作する生徒＝10日、高浜町 和田公民館

高浜 地元中学生が 灯音祭向け竹明かりを製作した。3年生が発表。

高浜町和田地区で6月23日に予定されている高浜中学生発表会の地域イベント「灯音祭」に向け、住民と高校生が協力して竹明かりを製作した。灯音祭は、同地区でギョーイマーケット田代路地祭として開催される。灯音祭は、同地区でギョーイマーケット田代路地祭として開催される。灯音祭は、同地区でギョーイマーケット田代路地祭として開催される。

高浜町にある県内最大規模の山城「砕導山城」の魅力発信に向け、地元の高浜中学生が動画制作に取り組み、山城跡に残る遺構の役割を

「武士姿。の生徒が寸劇で紹介。観光客に見てもらえるよう、現地の案内看板に動画を視聴できるQRコードを設置する。」(石川悠樹)

高浜中生が動画 看板にQRコード



④発信・提案

- ・砕導山城の魅力発信

「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

学校名	高浜町立高浜中学校	校長名	時岡 常和
-----	-----------	-----	-------

1. 推薦理由			
高浜中学校では、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域の豊かな教育資源や多様な人と積極的に関わり、地域社会との深いつながりの中で地域の課題を見だし、主体的・協働的に解決する学びの場として、企画提案型の探究学習「高浜未来創造プラン」を実施している。 「自分と社会のつながりに気づき、社会が抱える課題に問題意識を持って調べ、他者と協働して解決に向けて行動する力」、「地域社会をより良くしようとする社会の主体としての意識を持ち、ふるさとを愛し、より良い地域の未来を創造する社会性と郷土愛」を育てたいと考え、全校で取り組んでいる。 生徒は、多様な地域の人々の力強いサポートと連携のもと、地域に出向き、様々な体験や調査活動を通じて地域の人と課題を共有し、主体的に課題解決に取り組んでいる。この企画提案型の探究学習「高浜未来創造プラン」は、生徒の創造力、他者との協働力、主体性、社会性、郷土愛、地域貢献、情報収集・活用力、マネジメント力など多くの成果が得られ、生徒にとって有意義な実践となっている。			
2. 活動内容テーマ			
たのしく かんだう はっけん まなび 生徒の自主性を育む探究学習 ＜提案型探究学習＞「高浜未来創造プラン」 対象学年は、1年から3年まで全校生徒246人(1年生77人:13グループ、2年生93人:13グループ、3年生76人:13グループ)で段階的・系統的に取り組んでいる。活動は、年度終結型ではなく、次年度への繰り越し可とし、異学年交流(合同)も可として取り組んでいる。 生徒は地域の方々との交流を通して課題を共有し、地域のアドバイザーの力強いサポートと連携のもと、地域の自然、環境、歴史文化、伝統など、『人、もの、こと』にSDGsを関連づけて課題解決を目指す企画提案型の探究学習に主体的に取り組んでいる。※具体的な取組は別紙起案書参照(葉草、ハーブ、レモン、イチゴ、トマト、杜仲等特産品の魅力発信や商品開発、碎導山城跡の魅力発信、漁業活性化、空き家問題、住みよいまちづくり、インスタ映えスポット、子育て支援、地域イベントの企画・運営、フードドライブ、アップサイクル、食品ロス、ブルーカーボン問題、買い物難民問題等の社会課題) 本年度は、町行政の方々や各施設、青葉山麓研究所や町会議員、民生委員、高浜まちづくりネットワーク、地域おこし協力隊、ボランティア団体、碎導山城跡保存会、商工会、漁業組合、菓子組合、公民館、郷土資料館、明日研究所、観光協会等の多様な地域の方々に力強くサポートしていただいている。また、異校種連携として、若狭高等学校、舞鶴工業高等専門学校、九州保健福祉大学、小学校、保育所・認定こども園等と連携している。 発信や提案については、公民館講座の開催、地域イベント企画・運営(灯音祭、碎導山城跡探訪ツアー等)、研究発表会や校外での発信活動、商品開発やレシピ提案、キャラクターやグッズ制作、地域イベント「高浜マルシェ」や「箱庭市」での発信、プログラミングコンテストへの参加など多様な方法で課題解決を行っている。※学習活動における生徒の発意や発案は、別紙資料参照 本年度は、特に、「問を立てる」(課題設定)段階での工夫(講演会、個人課題発表会、過去の成果物や活動データの蓄積と情報共有、異校種連携、地域で活躍している人や先輩との交流など)、取組の進捗状況の情報共有(掲示物や地域のアドバイザーとの連携強化、職場体験とのリンク、起案書と報告書作成等)に改善を加え、生徒が情報収集や課題設定がしやすいように取り組んでいる。			
3. 年間活動実績(12月以降の予定を含む)			
●5月～7月 課題(テーマ・問い)の設定(地域との連携、地域課題の投げかけ、地域のSOS) 多様なゲストティーチャーを招いた講演会の実施(町行政、舞鶴工業高等専門学校、若狭高校探究科、高浜まちなか交流館、UMIKARA、碎導山城保存会、漁業協同組合、保健福祉大学、郷土資料館学芸員、青葉山麓研究所など)、成果物の共有(過去の報告書掲示、昨年度の冊子の展示、先輩の探究発表報告会、個人テーマ発表会等) ●8月 起案書の作成(テーマ、問い、設定理由、情報の収集、地域人材・アドバイザーとの連携、) ●9月 体験・調査活動、フィールドワークなど実施(情報の収集・整理・分析) ●研究実践(研究報告書、プレゼンテーション作成) ●12月～2月中旬 研究発表会の実施 3年生:12月19日、1年生と2年生は、3学期に実施 ●2月 まとめ(ループリック、成果物、ポートフォリオ)学びの過程を評価 冊子「研究のまとめ」の作成			